MEIJO Q&A

理工学部 環境創造工学科

Q ブータン王国ってなんで幸福の国って呼ばれているの？

経済よりも人々の幸福度の向上を大切にする国だから。そこで持続的な計画づくりのための調査をしています。

「幸福の国」ブータン王国、その伝統集落の景観を調査。

みなさんはブータン王国をご存知でしょうか？「幸福の国」とも呼ばれるこの国は、ある一定期間に国民によって生み出された財やサービスの総計であるGNP（国民総生産）といった経済指標ではなく、持続可能な社会経済開発・環境保護・文化の振興・すぐれた統治力の4つの柱などからなる国民全体の幸福度を示す独自の尺度であるGNH（国民総幸福量）の向上をめざした政策を進めています。言ってみれば経済的な豊かさよりも、精神的な豊かさを重視した国。そんなブータン王国の伝統集落について、ブータン政府招待のもと、ブータン公共事業省人間居住局と協働して計画づくりのための基礎調査を行っています。

物理的なデータから、その背後にある価値や意味まで探っていく。

この調査は、農村部の振興や居住地の計画づくりのためのもの。ドローンによる上空からの計測と地上からの踏査で、どのような地形なのか、どんな植物があるのか、川の流れはどうなっているのかを調査。そのうえで、土地の構成やどんな建築物が建っているかなどを測ります。さらに、そこに存在している社会構造・信仰・活動などを調べて重ねていきます。地形や建物などの物理的なデータを集めるだけではなく、その背後にある文化や信仰といった伝統的な価値や意味などを読み解いていくこともこの研究のおもしろいところ。学生のみなさんには、そういった研究の楽しさを感じてもらいたいと思っています。

吉村 晶子 先生

Yoshimura Akiko

大学院での恩師との出会いがきっかけで、研究の道に。その先生からは多角的に粘り強く考えることの大切さを学びました。「研究者の唯一にして最大の存在意義は、新しい問題をつくること」という恩師の言葉をモットーに、日々研究に励んでいます。

私の気分転換

料理でストレス発散。

料理をするのが気分転換です。なかでも中華料理は、素材ごとに下ごしらえする手順なので、「ひとつひとつ問題解決！」していくような快感があります。研究生活では解決しない問題が多くても中華をつくればスッキリできます。